

安全データシート (SDS)

平成30年4月13日 (第1版)

第1項 : 化学品及び会社情報

製品名 : ディスラプト
会社 : 株式会社フロンティアインターナショナル
住所 : 神奈川県川崎市麻生区五力田2丁目9-1
担当部門 : 品質管理グループ
作成者 : 永野 順也
電話番号 : 044-980-2226
FAX 番号 : 044-980-2270
E-メール : frontier@frontier-intl.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : ① 畜舎内の衛生レベルの向上
② 脱臭
③ 敷料の乾燥及び汚濁防止

第2項 : 危険有害性の要約

危害識別 : 危害 : 眼の刺激、皮膚の炎症、呼吸器
吸入 : 肺
皮膚に付着した場合 : 石鹼水で洗い洗淨する。
眼に入った場合 : 流水で洗淨。
経口摂取 : 酷い影響は無い。

ラベル表示



注意喚起語 : 危険

危害有害性情報 :

粉塵を長期間吸入すると呼吸気管に障害を起こす恐れがある。
発がん性の恐れ。

注意書き

安全対策 :

使用前に安全データシート (SDS) を入手すること。
すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
粉塵/煙/ガス/霧/蒸気/スプレーを吸入しないようにする。

応急処置

ばく露またはその懸念がある場合は、医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い場合は、医師の手当、診断を受けること。

保管 粉塵の飛散、水漏れなどが起こらない場所に保管する。

廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託すること。

結晶シリカ（石英）[EPA（Environmental Protection Agency 環境保護庁（米国））

危害分析カテゴリー：該当せず

発癌性物質：OSHA（Occupational Safety and Health ACT 労働安全衛生法（米国））－該当なし

NTP（National Toxicology Program 国家毒性プログラム（米国））－該当（吸入）

IARC（International Agency for Research on Cancer 国際がん研究機関）－該当

当該商品には、結晶シリカが max.5%含まれている。IARC (The International Agency

for Research on Cancer 国産がん研究機関)によれば、結晶シリカには、人間に対する発癌性物質を含んでいるとの確固たる証拠がある旨述べている。

第3項：組成及び成分情報

モンモリロナイト、銅、鉄及び亜鉛等の各種ミネラルに応じて調整された天然物質。

モンモリロナイトが主成分であり、それ以外に少量の天然物質が含まれている。

少量の天然物質成分：20% Min.

硫酸第二銅五水和物 CAS 7758-99-8

酸化亜鉛 CAS 1314-13-2

硫酸鉄第1 CAS 17375-41-6

酸化鉄 CAS 1317-61-9（色のみで不活性）

主成分：80% Max.

モンモリロナイト粘土 CAS 1318-9-0（キャリアー）

硫酸 CAS 7764-3-9（この成分は、不活性で、pH調整剤である。）

第4項：応急措置

眼に入った場合：直ちに流水で約15分間目を洗浄する。常温水より若干温かい水を使用した方が効果があります。症状がひどい場合は、医者診断を受けて下さい。

皮膚に付着した場合：石鹸水で良く洗い流して下さい。炎症が起きた場合は、その部分に皮膚軟化剤を塗布して下さい。炎症が改善しない場合は、専門医の診断を受けて下さい。

吸入した場合：新鮮な空気を吸って下さい。呼吸が苦しい場合は、人工呼吸を行なうか又は、酸素ボンベを使用して下さい。症状が酷い場合は、専門医に処置を受けて下さい。

飲み込んだ場合 : 医師の指示が無い限り嘔吐を誘発する処置はしないで下さい。意識が朦朧となっている場合は、口に何か物を入れたりしないで下さい。多量の摂取となった場合、襟、ネクタイ、帯或いは腰のベルトを緩め、直ちに医師の診断を受けて下さい。

第5項 : 火災時の措置

爆発 : 爆薬ではない。
消火媒体 : 当該商品は燃焼しない。
引火性 : 当該商品は、引火せず又可燃もしない。
引火温度 : 該当せず。
自然発火 : 該当せず。

第6項 : 漏出時の措置

こぼれた粉塵を最小限にとどめる為、バキューム掃除機或いは他の方法で、流出した粉塵を集めてください。
万一、粉塵の量が通常の作業量の水準を超えた場合は、人体防護の装置を実施して下さい。

人体の予防措置 : 防塵マスク、安全手袋、ゴーグルを着用して下さい。
環境予防措置 : 粉塵を排水溝、河川、湖に流さないで下さい。
洗浄方法 : 粉塵の発生を出来るだけ最小限に抑える為、バキューム掃除機を使用するか或いは他の方法で処理して下さい。(いかなる場合でも、水で洗い流すことは、厳禁です。)

第7項 : 取扱い及び保管上の注意

取扱 : 取扱は、安全に行なって下さい。 当該商品は、湿っていると非常にすべり易いです。粉塵の蓄積を避けるために充分なる管理及び換気を行なって下さい。
吸入及び度重なる目や肌への付着を避けて下さい。

保管方法 : 湿気の入らない乾燥した場所に保管して下さい。

第8項 : 暴露の防止及びの保護措置

換気 : 空中の粉塵の濃度を暴露限界以下に保つ為、排気装置を使用して下さい。
加えて、粉塵が発生するだろうと思われる箇所には、局所排気装置を使用する事をお勧めします。

人体の保護 : 粉塵の発生及び蓄積を避ける為、完全な機械制御装置を使用して下さい。
粉塵の量の限界が維持できているか確認して下さい。(肺胞粉塵に対して TWA8 時間
当り 5mg/m³、又、全体の粉塵吸入器に対しては、TWA 8 時間当り 10mg/m³)
粉塵の発生がある場合は 人工呼吸器或いは防塵マスクを着用して下さい。

皮膚の保護 : 皮膚の炎症を防御する為、手袋を着用して下さい。

目の保護 : 洗眼薬を利用して下さい。但し、作業中で洗眼薬を必要としていない場合は、洗眼薬を
使用はしないで下さい。

第9項 : 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 固形物

匂い及び外観 : 薄色 (グレー、ピンク、イエロー グリーン、ブラウンの混合色)
微粒若しくは微粉。 無臭。

pH : 8.1~10.5

比重 : 2.5g/cc

容積密度 : 1.18g/cc

%水溶率 : なし

溶融点 : 1,200°C

沸騰点 : 該当せず。

氷点 : 該当せず。

蒸気圧 : 該当せず。

蒸気密度 : 該当せず。

発火点 : 該当せず。 不燃性商品。

第10項 : 安定性及び反応性

化学的安定性 : 安定。

他物質との適合性 : 全ての物質と適合する。

危険な分解/副産物 : 副産物を含め危険な分解は無い。

他に避けねばならない条件 : なし。

第11項 : 有毒性情報

急激な毒性の影響は無い。

中程度或いはそれより高い粉塵の濃度で長時間暴露に晒されると、鼻、呼吸器及び胸部の健康に影響が

出ます。

呼吸器に対する粉塵の濃度が作業上の暴露基準より低い場合は、有毒の影響は受けません。

皮膚に繰り返し付着した場合は、皮膚の乾燥及び炎症が引き起こされる可能性があります。

度々、目に入った場合は、目に炎症が生じることもありえます。

人用の防護装置を着用してる場合は、何ら毒性の影響は有りません。

口に入った場合は、影響はありません。

急性健康被害 :

微粉が目が付着した場合、量の基準値を超えると無意識のうちに炎症を生じることがあります。

皮膚に付着した場合、皮膚炎を患っていると、その炎症が悪化する場合があります。

長時間連続的に暴露を吸引していると、既往症の喘息、或いは、呼吸器の疾患を悪化させる事もあります。

慢性健康被害 :

長時間基準値以上の粉塵を吸引した場合、軽度の塵肺症を引き起こすことがありますが、肺機能の低下を生じることはありません。

長い期間にわたり、高い基準値を粉塵を吸引し続けた場合は、肺機能の悪化を伴う重度の塵肺症を引き起こすことがあります。

第12項 : 環境影響情報

環境情報 : 環境への影響は低い。 持続性があり且つ非生物分解性の物質だが、環境に長期間亘り悪影響を与えるものではない。

流動性 : 固体、 不揮発、不溶解

分解性 : 非生物分解性で持続性あり。

蓄積 : 非生物分解性で 又は、特定の生物濃縮。

生態毒性 : 水生生物及び動物に対し無毒。

水生植物に対し無毒。

土壌生物に対し無毒。

好気性或いは嫌気性植物に対し無毒。

好気性及び嫌気性生物又は動物に対し無毒。

第13項 : 廃棄上の注意

残渣物は、無害及び不活性物質として、地方自治体の規則に従い認可された埋立処分地に廃棄が可能です。

汚染された梱包資材は、地方自治体の規則に従い認可された埋立処分地に廃棄が可能です。

第14項 : 輸送に関する情報

輸送に関しては、非危険物に分類されています。
輸送は、地方自治体の規則に従い行なって下さい。

第15項 : 適用法令

労働安全衛生法
粉塵障害防止規則
じん肺法
廃棄物処理法
大気汚染防止法

第16項 : その他の情報

この SDS の情報は、職場の危険を保証するというものではありません。
作業者は、当該商品を扱う際、常に、浮遊粉塵を発生させないように注意を払う必要があります。
上述の情報及び勧告は、正当と判断されたデータ及び資料に基づき作成されたものです。
但し、各項目の条件に対し、保証或いは補償をすることではありません。
又、商品に対する補償はしません。 明示的又は黙示的にかかわらず、上述の情報に基づき、何らかの補償をする事でもありません。
このデータを使用する事による結果については、当社は、何ら、責任を負いません。

尚、本 SDS は、JIS Z7253:2012 に準拠して作成しています。